

トピックス **ぶらす**

11/23

丹精こめて育てた味と技を競い合う

全国の農業高校で育てられたお米の味を競う、米食味分析鑑定コンクール「お米甲子園」が11月23日、群馬県川場村で開催されました。市からは米山高校園芸ビジネス科がエントリーし、真心を込めて育てた「ひとめぼれ」を出品しました。審査は、香りや粘り、食感などが総合的に判断され、審査の結果、見事最高賞の金賞の栄に輝きました。

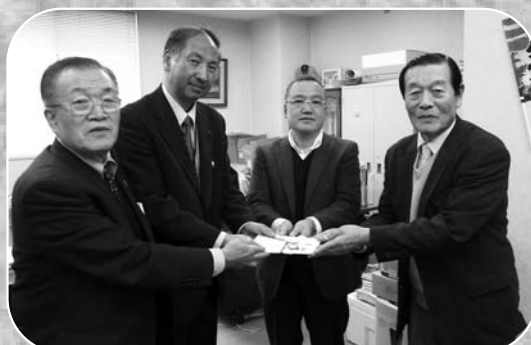


▲「今後も頑張りたい」と話す農業クラブの高橋会長

11/28

一日も早い沿岸企業の復興を願って

東日本大震災により甚大な被害を被った気仙沼市、南三陸町へ市産業振興会と宮城県経営者協会登米支部が11月28日、各会員企業から提供された机や椅子などの支援物資を届けました。これは、一日も早い復興を願い両会が企画したもので、物資は気仙沼商工会議所、本吉唐桑商工会、南三陸商工会の三団体を通じて被災した企業へ届けられました。



▲鈴木会長(左)と佐藤支部長(右)が善意を届けました

11/30

さあ！みんなでサッカーをしよう

東日本大震災で被災した小学生を対象に、スポーツを通して元気になってもらおうと「キリンスマイルサッカーフィールド」が11月30日、宝江小学校で開催されました。教室には、岩本輝雄さんをはじめサッカー元日本代表選手が講師として訪れ、ボールを使った鬼ごっこやミニゲームなどを行い、サッカーを通じて子どもたちと交流しました。



▲岩本さんとコーチと一緒にサッカーを楽しみました

12/10

市内の男女に出会いの場を提供

素敵な出会いを求める「クリスマスカップリングパーティー」(コンテナおおあみ主催)が12月10日、迫町のセブンダイヤモンドにおいて開催されました。これは結婚推進や後継者対策を進めようと市が後援し開催されたもので、当日は男女30人が参加しバンドの生ライブやゲームなどを通して多いに盛り上がり、楽しく交流しました。



▲生ライブやダンスを楽しみながら交流を深めました

マ 富山県入善町へ米山地区の小中学生を派遣
ラソンで友好を深め合う

友好姉妹都市の関係にある富山県入善町へ11月19～21までの3日間、市からの派遣団員として団長、副団長をはじめ小中学生16人が入善町を訪問し交流しました。期間中団員は、20日に開催された「第19回扇状地マラソンINにゅうぜん」に参加し、全員が完走。小学生女子の部で入賞を果たすなど好成績を収めたほか、最終日には入善小学校を訪問し「登米市のみなさんとのふれあい集会」と題して全校生徒に迎え入れられた後、入善町に関するクイズや全員でのゲームなどを行い、友好を深めました。



▲マラソン大会では、入善町の児童・生徒が横断幕で歓迎



▲神楽と地酒を楽しみながら、思い出話に花を咲かせました

舞 東京いしこし会総会・交流会
と地酒でふるさとを思う

第18回東京いしこし会総会・交流会が11月26日、東天紅上野店(東京都台東区)を会場に開催され、石越出身の在京者や関係者75人が参加しました。総会では、被災した石越中学校の教材に活用して欲しいと、東京いしこし会より3万円が市に寄付されたほか、総会後の交流会では、赤谷神楽会の皆さんによる「屋島合戦」や「御神楽」が披露され、勇壮な舞に会場内は大にぎわいでした。また、地酒「澤乃泉」を飲み交わし、昔話と近況を語り合う姿が見られるなど、心に残る総会・交流会となりました。

災 東和で災害ボランティア講演会
害から学ぶ「地域の力」

東日本大震災から9カ月が過ぎた12月13日、東和地域福祉センターで「災害ボランティア講演会」が開催され、民生委員や行政区長、災害ボランティア運営協議会委員など約50人が参加しました。講演会では(社)南三陸町社会福祉協議会の猪又総務課長を講師に招き、「東日本大震災発生時の状況と現状」と題した講話が行われ、災害発生当時の現況とその後への対応、現在抱える課題など、普段わたしたちが知る機会の少ない貴重なお話をいただき、参加した皆さんは熱心に聴講していました。



▲津波被害の現状や地域力の大切さについて熱心に学ぶ参加者